

雪まるかじりツアー

～とことん！雪あそびコース～

2022年1月4日（火） ～ 1月6日（木）

IN 兵庫県立兎野高原教育センター

	午前	午後	夜
1日目	施設に向け出発	雪遊び	キャンドル作り
2日目	雪上運動会	雪像づくり	七輪ファイア
3日目	片付け、そり遊び	施設を出発・解散	

一日目： 本日は快晴に恵まれ、良いスタートが切れそうです。各集合場所から尼崎へ集まりました。今回一緒に活動するリーダー紹介に始まり、お待ちかねのグループ分けへとプログラムはどんどん進んでいきます。グループ分け後は、バスへ乗り込みいざ出発です。初めは緊張から会話も少なく、静かな車内でしたが、徐々に緊張が解れ、車内は賑わっていきました。トンネルを抜ける度に「3！2！1！」のかけ声に盛り上がりを見せていました。かけ声と共に、何個目かのトンネルを抜けると雪景色が広がっていました。「おおー」と歓声が上がり、大盛り上がりです。バスの旅も終盤に近付いてくると、少し疲れた様子も見られ休まれている方もおられました。施設に到着後、昼食を済ませたらいよいよ雪遊びの始まりです。スキーウェアの着脱方法を学び、ワクワクが止まらない様子で素早く着替えを済ませました。まずは、雪に慣れるためにグループで思いつき遊びました。ほとんどの方が膝まで埋まってしまうほどの雪が積もっており、みんなはテンションマックスです。初めの緊張が嘘のように、和気あいあいと雪遊びを楽しみ、友達と仲が深まったように感じました。夕方になり施設に戻った後は、施設の方から施設の使い方のお話を身を乗り出して真剣に聞いていました。部屋では休憩時間も兼ねて、シーツを敷いたり、お風呂の準備をしたりと、有意義に過ごしました。食堂で夕食を済ませた後は、二日目の七輪ファイヤーに使用するキャンドルを作ります。グループで一色に色を決めるのですが、色選びから大盛り上がりで、出来上がった時には目を輝かせて歓声を上げていました。グループごとに個性が溢れた色合いのキャンドルが完成しました。まだまだ、遊び足りないといったメンバーもおられましたが入浴後は、疲れていたのか布団に入るとすぐに気持ちよさそうな寝息が聞こえてきました。

二日目： 昨夜から雪が降り、昨日の足跡はすっかり消えあたり一面とても綺麗な雪景色です。あまりの寒さに布団からなかなか出ないメンバーもおられましたが、今日は盛沢山の活動が待っているので、眠たい目をこすりながら起床しました。食堂で朝食を済ませた後は、早速グラウンドにて雪のプログラムがスタートです。まず、初めのプログラムは、雪上運動会です。各種目で見事勝利出来たら、夜の七輪ファイヤーの際に景品が送られます。一種目目は、雪合戦です。ルールはみんなが知っているドッチボールで行います。雪玉を全力で投げよけつつ、外野と内野の移動に大忙しです。寒い中でも汗をかきほど盛り上がりました。二種目目と三種目目は、雪のリレーと雪玉転がしをしました。慣れない雪に足をとられ苦戦するメンバーが多くいましたが、次にバトンを繋ぐために懸命に走りぬいておられました。結果に悔しがる方もおられ、一人ひとりが全力を出し切る雪の運動会となりました。休憩も兼ねて、早めに施設に戻り、昼からの造形作りの完成予想図を描きました。どんな雪の造形が良いのか、何が必要なのかをグループで話し合いました。昼食を済ませ、いよいよ造形作りのスタートです。完成予想図を基に、雪を集めたり、固めたりしながらグループで協力し作品を完成させます。寒い中の活動だったのにも関わらず、みんな夢中になって取



り組み「あつい～」と声が聞こえてきました。完成後は、完成図を作成し、完成予想図と見比べます。予想図と比べて実際に作った作品はどうだったのか、お友達の中で誰が輝いていたのか、造形作り中のことを少し振り返りました。本日の夕食も食堂でいただきました。みんなが大好きなからあげを目の前に、箸が止まらない様子でした。夕食後は、お楽しみの七輪ファイヤーです。グループ全員で一つの七輪を囲み、焼きマシュマロや、運動会で見事優勝したグループに贈られた景品を食べながら、二日間の出来事を振り返りました。メンバーからは、「最初は緊張したけど楽しかった！」という声や「もっと一緒にいたい！」という声が聞こえてきて、なんだか温かい気持ちになりました。寒い夜道を歩いて施設に帰った後、就寝時間ギリギリまで思い思いに部屋で過ごしました。



三日目： 最終日は、朝から大忙しです。朝食を済ませた後は、お世話になった施設の清掃をします。初日からメンバーには[全力で]という言葉伝えてきたのですが、ここでも一人一人が掃除に全力を注ぎ、予定していた時間より遥かに早く終える事が出来ました。早く雪遊びをしたいという気持ちがひしひしと伝わってきました。清掃後、早速スキーウェアを着用し、最後の雪遊びに向かいます。まずは、昨日に作成した造形を崩し均します。次に使う人が躓いたりしないよう丁寧に崩していきます。早く崩あい終わったグループは、自然と他のグループの手伝いに行く姿があり、三日間を共に過ごした仲間の優しさに感動しました。片付け後は、そり滑りを楽しみます。ふかふかの雪の上を滑りました。少し怖がっているメンバーもおられました。リーダーと一緒に滑ったり、他のメンバーの楽しそうな様子を見たりして全員からこれまでにないほどの笑顔が見られました。昨夜も雪が降っていたので、ふかふかの雪に思いっきりダイブをしたり、雪合戦を始めたり、時間の許す限り雪遊びを全力で楽しみました。みんなで食べる最後の食堂でのご飯を済ませ、荷物の整理を終えると、施設を出発する時間になりました。体育館に響き渡るほど大きな声で「ありがとうございました」と、お礼を伝え兎野高原を出発しました。帰りのバス車内では、思い出話に花を咲かせていましたが、しばらくすると寝息が聞こえてきました。尼崎に到着すると、三日間を共にしたお友達と別れを惜しみながら各解散場所へ向かいました。



<キャンプ総括>

この度は「雪まるかじりツアー～とことん!雪あそびコース」にご参加いただき、誠にありがとうございました。今回のキャンプでは、初めて雪遊びをされるメンバーがほとんどでした。その中で雪に慣れたり、雪の上で楽しんだり、雪遊びの魅力を感じてもらうには、、、と思い、私もキャンプに挑みました。三日間、盛り沢山のプログラムを行いました。プログラムにおいて楽しむという事は勿論必要です。今回は楽しむことと同時に、雪遊びのルールを守ることも大切にしました。普段の生活ではなかなか体験する事の無い雪の中での活動は、非日常の体験と共にルールを守り、『自分を守る』という点での学びがあったかと思えます。今後も、スキーや雪遊び等で雪と触れ合う機会には、今回身に付けた経験を発揮できるよう願っております。他のキャンプにもどんどん挑戦していただければ幸いです。 (山川 一咲)